

2011年8月6日(土)

## テストを活用して成績を大幅アップさせる勉強方法とは

開倫塾  
塾長 林 明夫

Q：テストは何のためにあるのですか。

A：(林明夫：以下省略)おっ、最初から素晴らしい質問ですね。(It is a very good question!!)

- (1)この「2011年夏塾長特別講義」の文章を何回も繰り返して読んで頂き、勉強の仕方についての関心が深まってくれば、必ず一度は深く考えるテーマが「テストは何のためにあるのか」です。
- (2)いろいろな考え方がありますが、私は「テストは今までに勉強してきたことを身につける、定着させて自分のものにするためにある」と考えます。
- (3)世の中にあるすべての「テスト」には、これは という科目のテストであると科目名が<sup>あらかじめ</sup>予め示されます。また、その科目の中のどのような範囲から出題されると「出題範囲」が予め示されます。
- (4)その予め示される「出題範囲」には、学校やその他で使用する教科書、テキスト、問題集、資料集からのものがあります。
- (5)その予め示される「出題範囲」の大半は、学校や開倫塾などの授業で既に教わったところです。(授業で教わっていない範囲から出題されることは、めったにありません)
- (6)私が何を言いたいかわかりますか。

Q：はい。「テストには出題科目や教科書をはじめとした教材の出題範囲表もあり、予め示されている。テストの出題範囲の大半は授業で教わっているところなので、テストに備えてしっかり勉強し、テストでよい点を取るように。」ということではないのですか。

A：その通りです。ここまでよくわかって頂いてありがたく思います。では、どのように準備をすれば、テストを用いて学力が飛躍的に向上するかを話します。

- (1)よい点を取るために今までにやったところをスミからスミまで勉強し直すことにより、「不確かであったものを確実に身につける」ために行うのが、テスト勉強です。
- (2)テスト範囲について、テキストをもう一度やり直す。特に、一度間違えた計算や問題はもう一度ゆっくりとやり返し、できるまでにする。
- (3)もう一度やり直してみても意味がよくわからない「ことば」は、辞書で調べ直す。
- (4)内容がよくわからなければ、「うんなるほど」とよくわかるまで教科書や参考書、授業中のノートなどをゆっくりと読み直す。

- (5)「音読練習」、「書き取り練習」、「計算・問題練習」などを繰り返してスミからスミまで、教科書の小さな文字で書いてある「注」のところまで覚え込む。
- (6)図や表も、意味をよく理解してからすべて覚える。
- (7)上から薄い紙をかぶせ、その上を鉛筆でなぞって、地図や生物などの図も覚えることが大事です。
- (8)とにかく教科書のテスト範囲に書いてあることを「スミからスミまで全部」よく理解した上で覚え込むことが、テストの受け方です。
- (9)テストであまりよい点数が取れない人には、とにかく大雑把おおざっぱにしか勉強していない人が多い。「スミからスミまで全部覚える」という「執念しゅうねん」、「情熱」が足りない人が多い。
- (10)受験生は、8月の開倫模試も、8月下旬の「業者模試」も、学校によっては9月に行われる「定期テスト」も、とにかく「スミからスミまで完全に覚える」を合言葉あいことばに勉強を進めて下さいね。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)「自分の未来は自分で切り開く」、「自分の身は自分で助ける(自助努力)」、「自分の行ったことは自分で責任を取る(自己責任)」ということばが、私は好きです。

(2)「あきらめたらおしまい」、「くじけないで」ということばも好きです

(3)テストでよい点は誰でも取れます。暑い夏ですが、がんばりましょうね。

では、今日はこの辺で。

以上